

ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市柳引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

第20回 ふかや花フェスタ & オープンガーデンフェスタ

4/29 祝 30日

2日間で約63,000人が来場し、4年ぶりに盛大に開催されました!

深谷テラスパークエリア



特設ステージ、出店

ガーデニングコンテスト

中学生ボランティア

秩父鉄道ふかや花園駅前エリア



フラワーロード

駅前ステージ

ハートのフォトスポット

ふかや花園プレミアム・アウトレットエリア



モデルガーデン

ワークショップ

翼のフォトスポット

オープンガーデン



藤沢地区 池澤邸

花園地区 新井邸

川本地区 近藤(美)邸

ガーデニングコンテストの結果

コンテナガーデン部門17点、ハンギングバスケット部門31点、オリジナル箱庭部門9点の応募があり、厳正な審査の結果、賞が決定しました。各部門の最優秀賞は次の通りです。

- ①コンテナガーデン部門 最優秀賞 やまもと まい 山本真以さん
- ②ハンギングバスケット部門 最優秀賞 たなべ さとこ 田邊理子さん
- ③オリジナル箱庭部門 最優秀賞 むらもと まさのり 村本雅典さん



①

②

③

わくわく『収穫体験』参加者募集

ふかや緑の王国で楽しく新鮮野菜を収穫しよう! 王国ボランティアが無農薬で育てました。

とき 7月8日(土) ①午前9時～、②午前10時30分～、雨天決行

ところ ふかや緑の王国

内容 ジャガイモ、トウモロコシの収穫

定員 各回先着15組(1組4人まで) ※小学生

以下の人が参加する場合は保護者同伴

参加料 1組1,000円

申し込み 6月14日(木)午前8時30分から電話で

ふかや緑の王国へ(1回の申し込みで2組まで)



▲昨年の収穫体験の様子

アリオ深谷屋上庭園内花壇管理ボランティア募集

アリオ深谷の屋上庭園に、『天空の散歩道』という花壇があります。その花壇の植栽、除草などの管理をするボランティアを募集しています。

活動は1カ月に1回程度、必要に応じて随時行っています。

興味のあるかたは、ガーデンシティふかや推進室(ふかや緑の王国)へお気軽にお問い合わせください。



▲昨年の除草作業の様子



知っていますか? 障害者手帳

障害者手帳とは、何らかの障害によって自立が困難なかたや日常生活に支援を必要とするかたに対し交付される手帳で、『身体障害者手帳』・『療育手帳』・『精神障害者保健福祉手帳』の3つの種類があります。障害者手帳を取得すると、その種類や等級に応じた各種福祉サービス(医療費助成や手当、自動車等燃料費の補助、居宅介護など)や、各種割引制度、就労に向けた支援などを利用でき、生活の幅が広がったり、社会に参加しやすくなるというメリットがあります。

手帳名	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳
内容	身体障害者福祉法に定める障害程度に該当すると認定されたかたに交付	知的障害があると判定されたかたに交付	一定程度の精神障害の状態にあることを認定されたかたに交付
等級	1～6級	①(最重度)～C(軽度)	1～3級 ※有効期間2年
手続き	指定医が記入した身体障害者手帳用の診断書などを持参し、障害福祉課(7番窓口)もしくは各総合支所(市民生活課)へ	母子健康手帳、成績通知表などを持参し、障害福祉課(7番窓口)へ ※書類作成のための聴き取りを行うため、できる限り本人と幼少期の様子が分かるかたが来庁してください。	かかりつけ医が記入した精神障害者保健福祉手帳用の診断書または障害年金証書などを持参し、障害福祉課(7番窓口)もしくは各総合支所(市民生活課)へ

☎障害福祉課 ☎571-1011 FAX 574-6667

新紙幣 あれこれ

紙幣の原版製作者「工芸官」

先月号でご紹介したとおり、

現在、市役所1階西側総合案内の近くに、新一万円札となる渋沢栄一翁の肖像のコンテ画(複製)を展示しています。

コンテ画を含む紙幣の原版作製には、工芸官と呼ばれる専門職員が必要不可欠です。工芸官には役割分担があり、色鉛筆や絵の具を使って精緻に原画を書



▲工芸官が、お札のもとになる絵(原図)を、筆や色鉛筆を使って精密に描いている様子



▲お札の背景の細かい模様や彩紋と呼ばれる幾何学模様を最新のコンピュータシステムでデザインしている様子



▲原図をもとに、ビュランという特殊な彫刻刀を使って金属板に点や線を一本一本刻み込み、原版を作製している様子
出典：国立印刷局ホームページ (https://www.npb.go.jp/ja/intro/seizou_photo.html)

く人、パソコンを使ってデザインする人、金属板にビュランという特殊な彫刻刀で点や線を1本1本彫刻し原版を作製する人がいます。

工芸官は、発注者のトレンドに見合う製品設計を検討し、そこに搭載可能な偽造防止技術を盛り込んだデザインと原版を作製します。熟練した技術を身に付けるためには20年程度を要すると言われています。

紙幣の改刷の周期はおおむね20年とされていますが、彫刻に要する時間も必要ことから、1人の工芸官が改刷に携われる機会は1券種または2券種に限られることとなります。

新紙幣に盛り込まれている偽造防止技術については、また別の機会にご紹介します。